



岡山大学記者クラブ 御中

令和 4 年 11 月 30 日

岡山大学

**産学連携による共同研究講座「医療情報化診療支援技術開発講座」開設
～AI 医療機器開発とデジタル人材育成を～**

◆発表のポイント

- ・骨のがん（悪性骨腫瘍）を検知するプログラム医療機器開発を AMED(日本医療研究開発機構)の支援を受けて令和 4 年度より開始しました。
- ・骨の悪性腫瘍は希少疾患ですが、希少疾患に対する AI 医療機器開発は少なく、その研究内容や薬事戦略を講義として配信し、デジタル人材の育成を目指します。

岡山大学学術研究院医歯薬学域(医)の長谷井嬢准教授と、プラスマン合同会社（所在地／東京都・千代田区）は経済産業省の推進する「高等教育機関における共同講座創造支援事業費補助金」の採択得て、医療関連のデジタル人材育成を目的とした共同研究講座として、新たに「医療情報化診療支援技術開発講座」を 2022 年 9 月 1 日に設置しました。

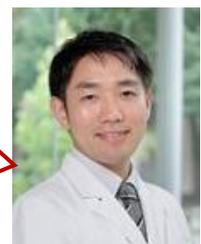
長谷井嬢准教授らは、岡山大学学術研究院医歯薬学域(医) 整形外科の尾崎敏文教授と共に、令和 4 年度の AMED(日本医療研究開発機構)に採択された医療機器開発推進研究事業を受けて、骨の悪性腫瘍のエックス線画像を読影する AI 医療機器開発を行ってきました。骨の悪性腫瘍は希少疾患であり、一般的に希少疾患は対象患者数が少ないことから医療機器の開発は難航しますが、医療現場では診療上困っている問題点が多く存在します。

本研究では、医療現場のニーズと、企業側の開発をうまく繋ぐことで研究を行う事が可能となったことから、適切なニーズを見出し開発へ繋げる案を出せる医療側、また社会実装を目指して薬事戦略を考える企業側の取り組みなどを通じて、これらの成果を講義として配信し、医療デジタル人材の育成を行うことを目指します。

この取り組みが評価され、経済産業省事業の執行団体である一般社団法人社会実装推進センターより、全国の病院で唯一、また医療以外の全分野を入れても中四国で唯一の採択を受けての講座設置となりました。本講座を通じて、医療の広い分野でのデジタル化が推進される、未来へ向けた人材育成が期待されます。

◆研究者からのひとこと

2017 年のまだ人工知能を用いた研究が少ない頃から、骨軟部腫瘍グループの一員として、骨腫瘍分野での AI 研究を行ってきました。これまでの努力が認められた形となり大変嬉しく思います。これからは AI だけでなく、デジタル化が広く医療分野でも起きてきますが、社会で使われるようになるには企業の力が必要です。研究者としてだけでなく、医療現場と企業の橋渡し役としてデジタル化の推進に貢献したいと思います。デジタル化のアイデアをお持ちの方はその実現についていつでもご相談下さい。



長谷井准教授

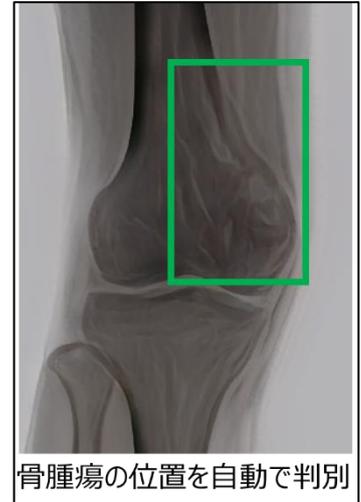


PRESS RELEASE

■発表内容

プラスマン合同会社は、胸部エックス線画像や胸部 CT 画像の読影を行う AI の開発を手掛けた経験を有する企業です。その開発技術のノウハウと、岡山大学整形外科腫瘍グループの医師による骨腫瘍の読影技術を合わせて、現在共同研究を行っています(図)。

AI 医療機器(プログラム医療機器)の認可を得た経験のある企業であり、希少疾患に対する医療機器の承認をどのように獲得していくのか、またビジネスモデルとしてどのように販売戦略を立てていくのか、企業側からのアプローチ情報を講義として配信していく予定としています。



医療分野でのデジタル化(DX化を含む)が今後加速していきますが、人材が不足しています。人材育成のため、医療情報化診療支援技術開発講座では、医療 AI のトピックに関する特別講義も多数計画しており、講義を通じて、医療側と、企業との新たな研究テーマが生まれていく事を目標の一つとしています。

医療における DX 化は患者さんにより優れた医療を提供するだけでなく、医療従事者の業務を効率化することで、医療者が患者さんと向き合える時間が増加します。患者さんに寄り添える理想の医療の実現を目指して、本講座は AI 以外の様々なデジタル分野の発展にも寄与して、DX 化を推進していきます。

<お問い合わせ>

岡山大学 学術研究院医歯薬学域
医療情報化診療支援技術開発講座
准教授 長谷井 嬢
(電話番号) 086-235-7273
(FAX) 086-223-9727



岡山大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

